

Link!

第11号

Contents — もくじ —

- P1 **Hot Topic!**
英語でつくばをテーマパークにしちゃおう!
- P2 **インタビュー企画「種まく人」**
国際美学院学院長
恩田 鳳昇 さん
- P3 **Zoom Up!**
①生け花・箏体験
②世界のうまいもんをつくばで
- P4 **Information & Notice Board**

Hot Topic!

英語でつくばをテーマパークにしちゃおう!

このイベントは、テーマをもとに留学生と一緒に考え、ペアワークとグループワーク（ブレインストーミング）をしながら、参加者が語学やペアになった留学生の国の文化に触れるとともに、コミュニケーションの大切さや国際理解に興味を持つことと、留学生も含めてもっとつくばのことを知ってもらいたい。ということを目指し、2019年11月23日、24日の2日間にわたって筑波大学グローバルビレッジ内にある大和リースコミュニティステーションを会場として開催しました。

まず、3つのテーマ（つくばの自然と歴史：元地質標本館研究員 玉生志郎氏、つくばの国際化：筑波学院大学経営情報学部准教授 亀田千里氏、柔道遺産 加納治五郎から東京オリンピック2020：筑波大学研究生アマンダ・デレッザ氏）の中から参加者が希望したテーマでレクチャーを受けます。次に留学生と参加者のペアで、受けたレクチャーから連想した単語を付箋に書き出します。そして、グループワークでその単語や連想したことを説明しながら模造紙に張りながら、単語同士の関係性を見つけていく。最後に他のグループで話し合われたことを皆で共有するという方法で行いました。

途中には、アイスブレイクとして、ヨガを体験したり、レゴや折り紙を使ったクイズなども行いました。また、ペアになった留学生の母国文化を知ったり、つくばのことを紹介したりする時間も設けました。

参加者は、英語で話すことが難しい場合は日本語を使ったり、身振り手振りで伝えたりしながら、初めは少し硬かった表情も、徐々に柔らかくなってきて、終わる頃には随分と笑顔も見られました。

参加者からは、お互いの文化を教えあうのが楽しかった。こうやって人とのコミュニケーションも良くなると気づいた。いざ話そうとすると、まだまだ使えていなかったとわかった。留学生の皆さんと話せてよかった。また参加してみたい。というような感想がありましたので、今後も内容をよく考えて改善しながら開催したいと考えています。

ご共催いただきました、筑波大学グローバル・commons 機構様、つくばグローバルアカデミックサービス株式会社様、ご協力いただきましたCity Chat Caféの皆様には心よりお礼申し上げます。





種まく人 ~Seedfolks~

国際美学院学院長 恩田 鳳昇さん

フラメンコ・日本舞踊・太極拳など多様な舞踊に精通し、数多くお弟子さんを育て、つくばでの文化発信に努めている「マルチ舞踊家」恩田鳳昇さんにお話を伺いました。

フラメンコとの出会い

まだ終戦の傷跡が残る昭和25年、フラメンコに出会いすっかりその魅力に取りつかれ、夢中になってお稽古に励みました。まだ豊かな時代ではありませんでしたが、前を向き人生を楽しみたいという思いから日々精進した記憶があります。その後40歳近くになって、とうとう念願のスペイン修行が実現しました。興奮を抑えながら旅だった日が今も忘れられません。帰国後はフラメンコ教室を開催し、広く文化の普及に努め、おかげさまでお弟子さんも少しずつ増えていきました。

マルチ舞踊家

ダンス教室を主宰するようになりフラメンコだけに飽き足らず、日本舞踊や太極拳など幅広く指導するようになりました。今や数多くの愛弟子が先生として教える立場となり、ますます舞踊愛好家の輪が広がっています。今年の2月2日には、「新春つくばおどり」をホテルグランド東雲で開催しました。「中国伝統の健身気功や太極拳、フラメンコとコラボした多彩な舞踊が魅力」なイベントで、「人生100年時代を元気に踊って長生きしよう」がテーマとのこと。レコード会社専属の振付師でもある恩田さんは、「格式を重んじながらも振付と衣装は従来の枠

にとらわれることなく自由に創作したい」と目を輝かせて話します。「つくばおどり」は好評のうちに満席となり、早くも次回開催に向け構想を練る恩田さんです。

文化が根付くつくばを

「“つくば” ならではの文化創造を」と話す恩田さん。タイ王立舞踊団や日西音楽交流会とも交流があり、国境の垣根を取り払った様々な活動をされています。「新旧住民が共存するつくば」だからこそ、互いに多様性を認め合い価値観の違いを受け入れることができるはず、と力強く語ります。

すでに米寿を迎えた恩田さんですが、姿勢がまっすぐで足腰もしっかりしています。その活力はどこから？との質問には「お弟子さん達から若さを吸い取っているのよ」と笑顔の返答。途切れることのない舞踊への情熱が生涯現役への秘訣かとお見受けしました。人生を豊かに過ごすためのヒントをたくさんお持ちの恩田さんでした。



フラメンコを舞う恩田さん



お稽古の様子

事業報告① **ZOOM UP!** 生け花・箏体験

12月15日（日）に国際交流のための生け花講座を小原流土浦支部支部長家元一級教授中山豊庸氏のご指導のもと開催しました。テーマは「お正月花」ということで、松や葉牡丹

を使って生けました。バランスよく生けるのはなかなか難しそうでした。

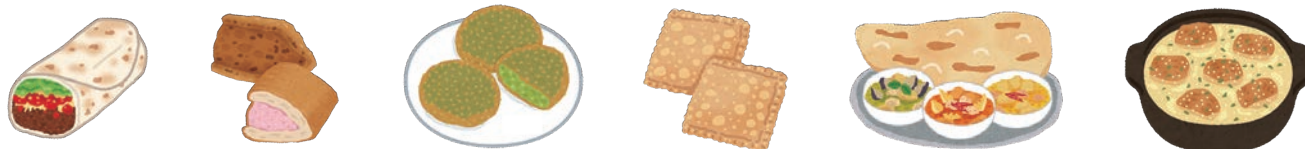
2月16日（日）には生田流箏三絃師範である菊佳世憲子氏ご指導のもと「春を奏でる箏体験ワークショップ」を行いました。箏の歴史、ミニコンサートに続いて、短い時間でしたが「さくら」を一生懸命練習して最後に全員で合奏しました。外国人の皆さん、正座が辛そうでした。

共催：SWiT、つくばグローバルアカデミックサービス株式会社



事業報告② **ZOOM UP!** 世界の“うまいもん”をつくばで!

このイベントは、世界各国の民族舞踊や歌などのパフォーマンスを楽しみながら、世界各国のおいしい食べ物をこのつくば市にいながらにして味わおうというものです。2年前からランタンアートと同時開催で、12月の寒い中クリスマスモードのつくばで、様々な国のうまいものを食べながら楽しい時間を過ごしていただいております。



Information

I プレスクール・プレクラス開催に向けて

つくば市の小中学校には外国につながる児童生徒が2019年5月1日現在、624人在籍し、そのうち少なくとも181人に日本語の支援が必要な状況にあります。

支援が必要な児童生徒が多い学校には、日本語教室が設置されているほか、日本語ボランティアによる補習が行われている学校もあります。しかし、ボランティアの数は十分ではなく、学校で日本語学習の機会がないお子さんもいます。また、学齢期を超えて来日する子どもたちが学ぶ場ありません。子どもたちは日常会話だけでなく、知識を学ぶための言葉の力も身に付ける必要がありますが、子どもの発達に合わせ、長期間にわたった丁寧な関りが必要です。私たち国際交流協会では、2015年から「高校進学何でもガイダンス」、2018年からは「こども日本語勉強会」を開催していますが、参加者は一部の家庭に限られていて更なる工夫が必要だと考えています。

こうした課題の解決には地域全体としてのサポートが必要です。今回、大学、こども日本語ボランティア、地域NPO、つくば市教育委員会などとの協働により、プレススクール・プレクラス（就学・進学案内、サバイバル日本語勉強）を企画、準備をしてきましたが、新型コロナウイルスの影響により開催延期となってしまいました。2020年度には是非とも開催したいと考えていますが、更に多くの地域の事例を参考にし、地域の方々の支援も得ながら準備していきたいと考えています。



Notice Board

I つくば市国際交流協会 賛助会員募集!

当協会では、協会活動の趣旨にご賛同いただける皆様からの資金面でのご支援を募っています。

◆令和元年度の賛助会員（団体及び法人）

TIVONAの会、朝日印刷、HP行政書士事務所、合同会社STCコンシューマプロダクツ、新日本補聴器(株)新日本補聴器センター土浦支店、関彰商事(株)、大和リース工業(株)、一般社団法人つくば観光コンベンション協会、つくば都市緑化(株)、学校法人つくば文化学園日本つくば国際語学院、常陸興業(株)、(有)丸市物産

◆賛助会費

個人：1口 2,000円／年
団体：1口 10,000円／年
法人：1口 20,000円／年

スポンサー（年間300,000円の協賛）

(株)カスミ、いちほらメディカルグループ

（令和元年度会員内訳：個人295、団体1、法人11、スポンサー2）

※その他、運営を支援いただく各種ボランティアがごぞいます。詳しくは、当協会のHPをご覧ください。

編集・発行



（一財）つくば市国際交流協会

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 1-10-1 つくばイノベーションプラザ内

TEL：029-869-7675 FAX：029-852-5513

ホームページ：https://www.inter.or.jp/ メールアドレス：info@inter.or.jp